

1 活動名 宙と緑の科学館視察（川崎市）

2 調査の目的

(1) 本市における課題

科学教育の拠点である教育文化センターの内容が現在の状況とあっていない。施設が老朽化していることと合わせ、内容の見直しが求められている。

(2) 調査の必要性

市長方針として宇宙と科学に特化した施設とするということから、内容検討に当たり、先進施設の視察が必要である。

(3) 調査項目

設備の概要、費用、施設のコンセプト

3 調査地選定理由

本施設のプラネタリウムに使用されている投影機は世界最高水準機種と呼ばれており、これまでにない宇宙像を投影できるとのことである。費用面もあるが、本市への導入機種選定に当たって参考とする必要があり選定した。

4 調査結果

(1) 実施日 平成 29 年 7 月 26 日

(2) 出席者 2 名 近藤晴彦 上條美智子

(3) 結果

投影機主名は MEGASTAR-III Fusion というもので、星空の美しさ、リアルさ、自然さを追及している。光学式とデジタル式の融合により目に見えない星までを描き出すことができる。設備費用は開発費を含めて 3.8 億円である。その他、メンテナンスに 20 年間で数千万円を要する。実際にプログラムを体験したが、本当に感動した。

また、研究や展示設備が充実しており、市民の学びの向上に大きく貢献している。特に宇宙を意識した内容が多く見られた。

(4) 成果・所感等

この種の施設は市民の関心をどう集めていくかということが課題としてあげられるが、その意味では興味深い施設構成となっており、仮称「科学博物館」の整備に当たっても参考となる場所が多くあった。

5 政務活動費

(1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額 「オープンデータ化の取組みについて先進地視察」と同様